

EU Indicators

欧州経済指標コメント：4-6月期ユーロ圏GDP改定値

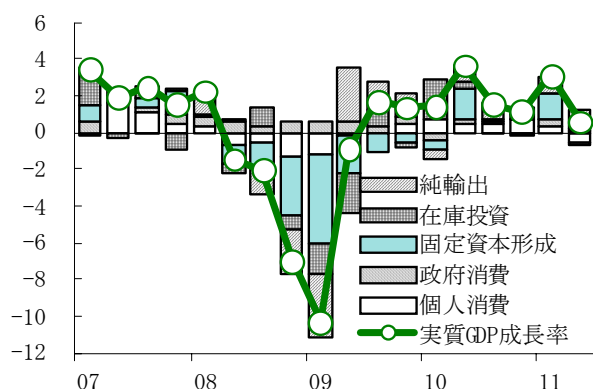
発表日：2011年9月7日(水)

～外需に支えられた弱い成長、7-9月期入り後は牽引役が不在～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

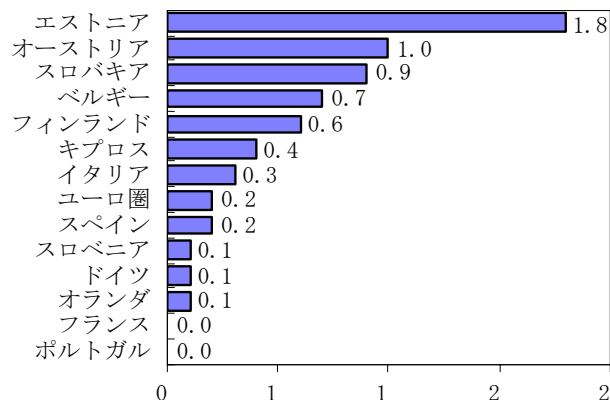
- 4-6月期のユーロ圏の実質GDP成長率の改定値は前期比+0.2%と速報値から不変（年率換算では+0.7%→+0.6%に小幅下方修正）。国別には（右図）、フィンランドが下方修正（同+1.2%→+0.6%）、スロバキアが新たに公表（同+0.1%）以外は速報段階から不変。前期の高成長を牽引したドイツ、フランス、オランダに急ブレーキ、イタリア、スペイン、ポルトガルなど財政不安国が低迷。
- 新たに公表された需要項目別の内訳は（左図・表）、①輸出の増勢が続いており、内需減速の影響も加わり、外需のプラス寄与が拡大した一方、②エネルギー高による実質購買力目減りや、フランスでの自動車買い替え支援制度終了の駆け込み需要の反動減もあり、個人消費が7四半期振りのマイナス、③財政緊縮の影響から、政府消費が5四半期振りのマイナス、④景気の先行き不透明感の台頭や、天候要因によるドイツの建設需要の低迷から、固定資本投資の増勢が鈍化するなど、内需が全般に低迷。
- 4-6月期の弱い景気拡大も輸出拡大と内需低迷による輸入減速に支えられたものであったことが確認。足許では世界的な景気減速懸念を受けて、輸出の拡大ペースが鈍化している模様。内外需ともに牽引役が不在となるなか、7-9月期の景気は低迷が予想される。

■ユーロ圏：実質GDP成長率（前期比年率、%）



出所：Eurostat

■2011年4-6月期の実質GDP成長率（前期比、%）



出所：Eurostat

■ユーロ圏GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目 GDP	実質 GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本 投資	在庫		輸出	輸入	
09/10-12月期	1.8	1.4	(0.0)	0.8	1.9	▲ 3.1	(▲ 0.2)	(1.3)	8.1	4.9
10/1-3月期	2.3	1.4	(1.9)	1.3	▲ 1.8	▲ 2.7	(2.1)	(▲ 0.5)	13.8	15.6
10/4-6月期	5.1	3.7	(2.9)	0.9	1.1	8.9	(0.4)	(0.8)	17.9	16.2
10/7-9月期	3.4	1.5	(0.7)	0.9	0.3	▲ 0.3	(0.2)	(0.8)	7.4	5.6
10/10-12月期	1.2	1.2	(0.8)	1.3	0.1	▲ 0.8	(0.2)	(0.3)	5.7	5.1
11/1-3月期	5.1	3.1	(2.2)	0.7	1.7	7.5	(0.1)	(0.9)	8.1	6.3
11/4-6月期	2.4	0.6	(▲ 0.4)	▲ 0.9	▲ 0.7	0.6	(0.2)	(1.0)	4.1	2.0

出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。